

はじめに

少子高齢化・人口減少の進展など社会環境の大きな変化を受けて、生涯学習や社会教育における学習成果を「地域づくり」の実践につなげていくことに対する社会の期待が高まってきています。

広島県内においても、「公民館」(※1)のこれまでの在り方を見直し、学びの成果を地域づくりに積極的に活用しようとする様々な取組が各地で進んできています。

このような動きは、今後、生涯学習や社会教育の成果が、地域住民のつながりを深め、「学び」を地域課題の解決につなげていくことにより、人々の暮らしと社会の発展に大きく貢献することができる可能性を有していることを示唆しています。その可能性を顕在化させ、活発な取組が展開されるよう、今後の生涯学習・社会教育に期待される施策や方向性を明らかにしておくことが求められます。

「広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』」(略称:「ひろプロ」(※2))は、こうした広島県内での「公民館」の職員の皆さんの様々な創意工夫や熱意による、元気な取組の具体的な仕掛けやノウハウ、また、実践から生み出された知恵やアイデアを集積することにより、オリジナルの「広島モデル」を実証開発、その成果を県内外に波及させていくことを目指し、当センターの研修・調査研究事業の一環として、その歩みの一歩を踏み出したものです。

地域住民の主体的な「学び」から始まる地域づくりのプロジェクトを多様な側面からコーディネートする公民館等職員の皆さんが、「ひろプロ」コーディネーターとして、この「ハンドブック」を積極的に御活用いただくことで、地域住民の主体的な“学び”や“行動”が生まれ、各地の「公民館」の活動が活性化し、ひいては、地域づくりに主体的に参画する人づくりの機運が醸成されていくことを願っています。

最後になりましたが、本調査研究及びハンドブックの作成にあたり、御支援・御協力をいただきました各地の担当職員や地域の皆様に改めて厚く御礼を申し上げます。

平成31年3月

広島県立生涯学習センター所長

※1 「コミュニティセンター」等の公民館類似施設を含みます。(以下、同じ)

※2 略称「ひろプロ」、以下、同じ。

このハンドブックの使い方

本ハンドブックは、広島県立生涯学習センターがこれまで培ってきた、生涯学習・社会教育の実践に関する知見の集約はもとより、公民館等職員、社会教育教育分野の研究者や実践者、行政担当者など、様々な立場の方からの情報や御意見を集約し、公民館等職員の学びを通じた地域づくりに関するコーディネート能力の向上を意図して、より多くの市町や現場の公民館等で活用されるよう作成したものです。

例えば、掲載している個別のモデル事例や実践事例集は、公民館等において導入可能な様々な手法を知っていただくことを意識して作成しました。

御覧の皆様には、次の用途別の使用方法を参考にして御活用ください。

● **プロジェクトの背景となる基本的な考え方・理論を学習したい方へ**

→ 第1章 「広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』」の実施にあたって

● **プロジェクトの概要やコンセプトを知りたい方へ**

→ 第2章 「広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』」の概要

● **企画・実践のモデル事例を参考としたい方へ**

→ 第3章 開発モデルの試案

● **県内の公民館等の取組事例の情報を得たい方へ**

→ 第4章 実践事例集へ

● **企画書・報告書の様式（テンプレート）を探している方へ**

→ 参考資料・情報

● **「ひろプロ」マークをダウンロードしたい方へ**

→ 参考資料・情報

ハンドブックに掲載の資料・データは、広島県立生涯学習センターのホームページで公開しており、どなたでも活用いただけるようになっています。企画書の様式（テンプレート）やプロジェクトのアイコン（「ひろプロ」マーク、コウミンカンくん&コミセンちゃん）等も自由にダウンロードできますのでぜひ御活用ください。